三和新報

日刊（除日曜・祝祭日） 第50才 平市六町目三和新報社発行 電472

支社・支局―東京支局・湯本支社・内郷支社・小名浜支社　7月2日　（1カ月50円）

（昭和29年6月17日第三種郵便物認可）

人の往来

◇伊藤徳雄警視（小野新町署長）は六日午前八時三十五分平駅発上り磐越東線で出発

◇金田功警部（三春署）も同列車で出発

◇車田喜雄警部（常磐署）は六日午前八時二十分平発上り常磐線で出発

◇鈴木武雄氏（県教委石城出張所主事）は県大会に二日若松市に出張四日帰平

◇志賀実氏（平労基署第三課長）は安全診断のため二日小川村に出張

◇渡部俊治郎氏（平市土木課長）は県営住宅入居者打合せのため二日福島に出張

◇平野正夫氏（平職安所長代理）は六日全国職業指導研究大会のため上京十日帰平

専任商工課長をおけ

貧弱な夏まつり予算

商工業者不満の声

平市内の商工業者は「市役所に専任の商工課長をおかないのは商工業者を軽視するものだ」と鋭どく批判している、市役所商工課長が闘場農務課長兼務という変則人事は一年も過ぎている、現在の市商工課は兼務課長を含めて十八名の人員があり予算は年間百六十八萬八千七百円だがこの人員は配給三統計三、遊園地八、商工三と分割され、さらに商工係のうち二名は遊園地も兼務しており商工関係は殆んどが福田主任一人で切り廻しているという現状だ、この為専任課長の問題は早くからおきており当初予算の市会にも問題となつて市長は「優秀な人材を起用して早急に実現する」ことを確約しているがその後はまた立消えの形になつてしまつている、ところが平名物の七夕祭りを中心とした「夏まつり」が近ずくにしたがつて市内の商工業者は「この夏まつりこそはデフレ政策による不況の波をおしきつて購買層の買気をあおる機会だ」とみておりそのためには充実した夏まつりプランを計画して欲しいというわけだ、ところが現在の市商工課の内容からみてこの充実計画をたてることは困難のため平商工会議所に一任している、専任課長がいなければだめだという見解をとつている、これに対して関係者の意見を聞いてみる、平市商店連合会佐々木俊男会長

昨年からの話しで本当に困つた問題だ、市長、助役、商工委員に話しているがさつぱり実現しない、市の経済自体から見てもわかるように税収の過半数は商工業者からの収入であるにもかかわらず商工業者に対する予算はわずかに七%にすぎない、それに関答にしても福田主任一人が担当している現状だ、とにかく多額の税収をみている商工課にこのようなレイサイ予算では充実した行事はなにも出来ない市の行事は寄附のいらないものにして欲しいものだ、それもすべて専任課長のいないよわみだこのようなことが今後も長く続くならば商工課予算は全部商工会議所にまかせてしまうのが一ばんの良策だ、市当局はあまりにも商工問題を軽視している

平市役所伊藤助役

現在のところは専任課長をおく考えはもつてない、今後人材があれば登用したいと思つているが現在事務に支障はおきてないはずである

郡市教務主任会

一本化

平市、石城郡小中学校合同教務主任会は三十日常磐市湯本公民館でひらき連合教務主任会を結成、規約予算の審議、新役員を次の通りきめた

（会長）渡辺伊公（植出小）▲副会長）叶多政寿（平二中）山口市郎（小名浜一中）三本晋正（内郷二中）

平議會書記に安藤氏

平市議会ではながらく欠員となつていた議会事務局書記に安藤正男氏を一日付発令した

ごつそ二百名

アユ豊漁

アユ解禁の初日まちかねた太公望は初獲物を狙つて平周辺の川は大いに賑わつた、夜川の上流上遠野村根岸橋サイホン附近は午前五時頃から出植えの終つた地元民や平方面から約二百名がどつと押しかけたが最近の雨で上流ほど獲物が多かつた、また夏井川では赤井村役場附近から愛谷せきが調子は良好、早くも市内の料飲食店には百匁百円で取引され初夏の味覚をそえた、三、四ノ土、日曜には泊りがけの天狗連で賑わいが予想されている

二日から平夏祭

呼び物の名士演芸會

恒例の平市名物夏まつりは三日から十八日までの十六日間にわたつてもりだくさんの行事がおりこまれて催される予定は四十三万五千円で行事予定はつぎの通り

○三日前夜祭として郡内に宣伝隊をくり出す○四日―六日七夕祭り

コンクール○七日名士納涼演芸大会素人のど自慢コンクール○市内高校野球大会（雨天のさいは十七日）○九日じゃんがら念仏コンクール○十二、三日ぼん踊り大会○十四日仮装ぼん踊り○十八日花火大会（平神橋上、下流）

菅野豊治（捜査係長）田辺佐内（警備係長）佐藤武二（保安係長）愛川一（警務係長）菅野昭太郎（警ら係長）

部長

▽横川重夫（警務主任）菅野清（保安主任）杉森勘治（鑑識主任）根本代重（交通主任）佐藤清（警ら主任）宮本豊（同）道向久右衛門（同）生亀寛（捜査主任）新妻二郎（同）梅田五月（取調主任）渡辺正三（同）根本清一（警備主任）村松友枝（同）渡辺仲吉（好間警部補派出所警ら主任）原田孝夫（四倉警部補派出所警ら主任）

平署の人事異動

百二十八名の大世帯

平署では県警察の発足にともない一日付で署内人事異動を行つた、これで同署は定員六十七名から百二十八名の大平署となつた、また今まで部長派出所だつた好間が警部派出所に昇格した、異動つぎの通り

警部補

（好間警部補派出所長）

内郷の都市化スムース

おかげで農地六町つぶれる

内郷町の都市化は近年めざましいが昨年八月から今年六月までの間に潰廃された農地は六町五反三畝にのぼり一カ月平均潰廃率が二反八畝となり九割が田、残りが畑で病院の敷地が五割を占め住宅が二割、工場敷地二割その他となつている、最近潰廃された農地は労災病院、職業補導所、共立病院病棟常磐炭砿排水坑などである

内郷で幼児ハネらる

一日午前十一時十五分ごろ内郷町綴地内国道上で同町字板宮瀬戸次郎さん次男憲治ちゃん(六)は同字常磐キリスト教会「光の子園」の入園式の帰途東北電力平営業所ジープ運転手―橋昭三郎(三七)にはねとばされ右大たい部骨折腹部打撲で全治二ケ月の重傷を負つた

バスガール襲わる

一日午後七時三十分ごろ平市白土常磐交通バスガール某女(二七)は会社の帰り八幡神社境内で暴行されようとしたが大声を立てたので痴漢は逃げた

女の死体波立に

一日午後六時ごろ双葉郡波立薬師海岸に全裸体の小納な女の死体が打上げられていた、廿日間ぐらい経過している

先生の身體検査

常磐市内の小中学校全職員の特別身体検査は七日午後一時から公民館に平保健所員が出張して行いレントゲンの撮影を行う

赤兒が火ダルマ

三十日午後五時十五分ごろ三阪村差塩字館下木炭製造業橋本正吉さん(四三)の次男安夫ちゃん(三)は両親の留守にいろりにころげ込み全身火だるまとなつて死亡した

幼兒ハネらる

一日午後二時四十分ごろ平市正月町木炭商山辺秀松さんの孫秀ちやん(二)は自宅前の国道を横切ろうとして東京都葛飾区亀有洋裁業半谷秀雄さん(四三)のオートバイにはねられ頭部に二週間の傷を負つた

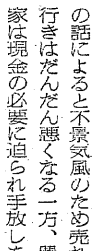
いわきの百人 17

小野英二郎論

常磐市観光協会長

紅顔の美青年なんていつたら「ウソつけ！バカも休み休みいうもんだ」と頭から信用されないぞろうしかし常磐市の大男小野英二郎氏は誰がみても紅顔の美青年でありまさか四十五才のオールド・ボーイだとは思わないだろう、それほど彼は若いのである、この彼が最近大きなヒットを二つぶつばなしたことは衆目の見るところである上下二本の急行列車を湯本駅に停車させることに成功したことと矢吹氏の陰の人物となり強引に磐崎村を備入合併したことである、これは政治経済的に大きな功績であり歴史的なことであろう、彼は若いとき中央で社会運動をやつたことがある、浜口内閣のころで文学なども少なからずかじつたようで肌ざわりが柔くよく物のわかる兄貴らしいところがある、故郷に帰つたのは廿二才のときで町会議員にでたのは廿二才だつたという、町議は三期つとめたが未だかつて議員になつたときも町長同様の町政参与をつとめたのであるから若くしてなかなか敏腕家である有能の士だつたのだろう、昭和十七年ごろ源泉組合から財産区が告訴されたときは陣頭指揮をとり遂に財産区が温泉管理する権利をかちとつたという旧入山炭砿とごたすたを起した温泉契約のときも寝食を忘れて尽力したのも彼であり、こと温泉問題については、彼の右にでる者がないほどの権威者である、市制施行後後は都市計画委員長として活躍しているが現在彼の研究テーマとなつているのは温泉中心の繁華街建設で上湯長谷貯水池地内に二万坪ほどの敷地がとれるのでスポーツ・センターができると張切つている、「小野氏は病身だ」といわれ一見虚弱そうだが彼ほどエネルギツシユな男も稀で老若を問わず好かれる好漢である

ミシンばんざい 湯の本山で



ぼんやあるる

四百頭ペロリ

○…六月中に平保健所に届出て屠殺されあの世に昇天した動物は牛十一、馬六、豚三百八十七、仔牛七山羊、めん羊四頭計四百二十六頭二万六千七百五十二キロとなつている、現在平地方の豚は昨秋の豚コレラがまだ響き絶対量が不足しており全体の一割程度は東京方面から買付けている状態しかし肉屋の話によると不景気風のため売れ行きはぼんぼん悪くなる一方、農家は現金の必要に迫られ手放しを急ぐので秋までには移入の必要がなくなるがそれでも相場が下る気配はさらにないという

3日より11日まで 全店中元大売出し

☆夏の必需衣料大奉仕☆

その一例

紳士ポーラ誉ズボン	1500円
ブロード開襟シヤツ(半袖)	650円
東京本染ゆかた 1反	4800円
単帯 八寸	5570円
ブロードブラウス(半袖)	260円
純毛婦人海水着	300円

大人丸首シヤツ	80円
子供シヤツ	40円
リツブルプリント	90円
平袴染プリント	190円
純毛トロピカル上衣	2000円
純毛ウースポーラー上下服	6850円

御中元御贈答品各種豊富取揃当店

独特店頭特価品市を御覧下さい

贈つて便利な 商品券 御利用下さい

衣料品のデパート 鈴藤

カメラと富DPは士

時計・ラジオ レコードの店

時計修理 金光堂 平市五丁目電195

7月 3 4 5 10 11 12 結果は毎日本紙に発表

平けいりん 午前十一時発走 場所 大町・郡山 若松・福島

3日（土）4日（日）5日（月） 全店中元土・日・月大奉仕

実用呉服1000反大奉仕！

☆梅雨も明け愈々夏が参りました今回は季節商品を豊富に取揃え3日間特別奉仕品提供！☆

夜具地・裏地・白格子・色格子ゆかたを1000リ特別奉仕値段提供！限反

☆全店ホワイト生地大奉仕☆

大人テレコTシヤツ	50円	婦方口ゴム付靴下(3足)	100円	紳士用雨傘	390円
〃 クレープ上下各	180円	オープンシヤツ	650円	学童用〃	270円
〃天竺ランニングシヤツ	50円	40ブロードカツター	380円	晴雨兼用傘	525円
〃スムス 〃 〃	100円	〃 〃	480円	婦方ナイロンバンド	300円
〃 〃 Tシヤツ	100円	キヤラコ長袖開衿	300円	婦人 〃 〃	550円
〃 〃 スプリング	100円	〃 半袖	230円	婦人ブラウス(40ブロード)	290円

贈つて便利 受けて重宝 商店券 御利用下さい

皆様の利益を護る店

小名浜支店 湯本支店 平金坂店 平店 平駅前店

大黒屋

夕刊　三和新聞社発行　定価1部2円　（日曜日）（祝祭日を除く）

兩替屋〝安田商店〟

〝大富士〟を築くまで

② りぐめ行銀

富士銀行の巻

死治元年三月（一八六四年）に資本金二十五両で両替、海苔、鰹節の安田商店であつた、明治十二年十一月に米国の国立銀行制度にならつて資本金二十万円で「合本安田銀行」の名で発券銀行として創立された（合本とは個人が資本を合した私盟銀行）明治十三年、普通銀行として開業、明治三十三年には資本金二百万円に増資、大正十二年十一月一日には資本金一億五千万円、預貸金とも五億四千万円の「新安田銀行」が誕生、新発足した

昭和二十三年十月、財ばつ解体独占禁止法等の関係などから現在の「富士銀行」と改称した、頭取は迫静二氏、全国に百八十五支店があり預金額二十七億一店舗平均預金額は五億七千万円になつている

平支店は昭和二十年十一月十五日、市内二丁目の現在中野洋品店隣りに株式会社安田銀行平支店として営業を開始、二十四年四月二十四日に現在の三丁目に移転した、平支店は支店長鈴木清一郎氏以下二十八名で預金、為替、出納、貸付の四課がある鈴木支店長は東京馬喰町支店次長から昨年八月に栄転してきた四十才、長身のスタイルにはいかにも大銀行の若手支店長らしいフレッシュな感じをみなぎらせている、趣味は謡曲だが、それも銀行、金融に関するものに限られているそうだ、支店長代理は渉外関係が松田七男氏、内務関係が福島治雄氏、ともに生えぬきの富士マン、福島氏の温厚な人当りは無理な融資申込み者のホコ先をそらすには正に適役といわれている、頭金の渡辺幸城氏、貸付の安斉定吉氏は揃つて若手だが切れ味は相当のもの、三度の食事よりも銀行事務に興味があるというから張り切りぶりは推して知るべし、預金も常磐や戸部系を吸収しているだけに十億の動きがあるといわれ大手筋だけに不況のひびきも緩慢だ、東京本店銀行の手堅さをみせて地元貸付は十パーセント内外と玄人筋はみている

入場券、官給に変る

五月十八日の税法改正で映画、演劇が国税に移管され暫定的に従来の入場券を使用していたが不評判なため八月一日から恒久的官給入場券が使用されることになつた

これは上質紙のすかし入りでタテ四センチ、ヨコ九センチの規格で百枚綴りの通しナンバー附きという厳重なもので税率十%は緑、二十%は桃、三十%はねずみ、四十%は深青色、五十%はうぐいす色と色別される、入場券はいままでは自費で印刷していたものでこの印刷代が五枚ツヅリ券で六銭ぞつたものがこの改正で官給という形で無償支給されるため映画館では余計な手数がはぶけるほか印刷代もうくと大喜び

生活扶助申請ふえる

最近の不景気が反映して生活扶助申請者がグンと多くなつている—石城福祉事務所五月現在の扶助額は九百七十五万六千三百九十六円で昨年同期より二割も上廻つておりこのうち最も多いのは生活扶助で全体の五割を占めついで長期療養を必要とする結核の医療扶助が三割となつている

平職安所では赤井村赤井字浅口同村自由労組長、村議菊地秋明（三九）を一日から就労停止処分にした、

日雇村議を就労停止

紙上カメラ講座 5

富士カメラ　撮影解説　今井速水

逆光の手法に二通りあり完全な影絵として効果を挙げ得る場合と表情を出してはじめて効果のある場合とあり一般に暗部に対して適正の露光を与えてはじめて眼で見た感じの写真が出来上るものである、暗部を出すためにリフレリターフラットランプフラッシュバルブの併用も効果がある

▽作例　パール2型キクバンクロ

右・6二十五分の一左・6一秒

商店界

「桃の井」の由来

最近おやつに贈物に銘菓「桃の井」が珍重されているが「桃の井」の由緒は……昔どこからともなく旅をして磐城の国に来た人があつた、彼は磐城の国に桃源境があると夢にみたのでがきつかけで諸地方を遍歴してきたがどこへいつても砂漠のように荒れ果て長所ばかりで意にかなつた所がなかつたがたまたま繁華にかこアシスのような一地帯を見つけだした、彼は小踊りしながら喜び勇んで出かけたところ古い歴史をひそませた古井戸がありそのそばに新時代に育ちゆく桃の木が一本たつていた彼はこの場のありさまに驚き古事をつきとめ新しいことがらを知ろうといくたの桃の井すなわち桃源境を見出そうとしたところがほどなくその努力が実をむすび次の名所が分つたといわれている、今いわれているところの

みちのくのいわきに名所八つあり北に電峰あか伽井嶽東に波立　新蟇子　南に燧台　沼の内　菊地は去る二十七日午後一時五十分ころ赤井村地内の赤井嶽失対事業現場で副隊長の荻野留三さんに因念をつけて殴り顔面に十日間の傷を負はせたもので同人は村会土木委員および全日本自由労組石城分会斗争委員を兼務している

常陽二十年誌出版

常陽銀行では七月三十一日が創立二十週年にあたるので記念事業として二十年誌を出版する

さんすい

投稿を歓迎しますハガキ一枚に一つ書くこと、採用の分に薄謝呈

国民は再軍備賛成キカン銃が打ちたいのだパチンコ屋を見よ
—木村長官（赤井・五郎）

ウサギ山の別れ「親分カネが鳴つてまさあケイリンの」
—自治署解散（南町・蕃行）

神者のこえ

死の灰

先だつて平市大工町に〝死の灰〟が降つたと一時大騒ぎになつた、もしこれがホンモノの〝死の灰〟だつたらボヤボヤしていられないので私はシンケンになつて〝死の灰〟なるものの実体を追求するため連日大工町一円をウロついたところちようど一週間目で〝死の灰〟なるものが私の頭や肩にバラバラとかかつたので灰を落さずしん重に牛のようにノロノロと我が家に帰りさつそくけん微鏡でのぞいてみたら銭湯屋のエントツから降る灰であることがわかり安心したナント人騒せの〝死の灰〟だろうしかし町や村の灰ではなく、たしかに「市の灰」だつた

（長橋・一医師）

教組石城出張所で

保育協議会総会

石城郡保育協議会の総会は四日午前十時から内郷町釜谷保育所にひらき廿九年度予算審議計画の審議の後役員の改選と研究発表を行う

嘱託員きまる

二日内郷町で

内郷町役場では二日午前十時から会議室で町内の新嘱託員五十名に辞令を渡し二十八年度班長五百十名に感謝状と記念品を贈る

免許事務打合せ

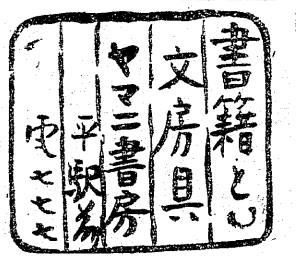
県教育委員会石城出張所では東北北海道管内の免許事務打合会を九日午前九時から湯本公民館で開く

防犯映画会

湯本公民館で

常磐市少年保司協議会主催の防犯映画会は十七日午後六時から湯本公民館でひらく

劇場 開花 田町笹三八九


書籍と文房具 ヤマニ書房 平駅前

カバンのデパート ヨシダ 平駅前

西に常磐　勿来の関　中にとりつぐ尼子橋といわれているが銘菓「桃の井」はこの古事にちなんでうけた名称しだ…

今晩の映画

◎聚楽館　改装のため休館
◎世界館　嘉慣　若き血は燃えて
◎平　館　陽は沈まず　獺次喜多　金比羅道中
◎民　劇　悲恋の王女エリザベス　愛の調べ
◎ひかり座　二ツの世界の男　戦慄の七日間
◎第二いわき（三一七）雲は天才である　流刑の大陸　凸凹〝小僧トンチン道中
◎綴映画（三一三）副将軍初上り　坊ちゃん社員
◎三函座（三十一四）五ツ木の子守歌　人肌千両

夏期優秀既製服
◎◎入荷地◇◎
カイス・ツズボン・背広・生地
トラ当工場にて勉強注文承ります
◎◎
鈴木勘呉商店
第一電1638番　1丁目　第二電732番　平和通り

時中元贈答用品承り開始

贈って悦ばれ貰ってもしい品を！

ラジオ福島　寿百貨店提供

朝8時25分より　啄木歌集を
夜6時5分より　お送りしています

ごんな高級品でも
ごんな数でも
直ちにお間に合せ致します
（東京本社直送）

風呂敷　タオル　手拭　高級石ケン　化粧石ケン　洗濯石ケン
香水其他　化粧品類　ブローチ　ハンドバツグ　アクセサリー類
札入　財布　男物洋品類　婦人物洋品顔　ネクタイ
ハンカチ　ブラウス　Yシヤツ　ポロシヤツ

七月一日より
夜間八時まで営業いたします

平市田町六〇（平駅前）
株式会社日興平営業所
寿百貨店
電話　656　1764番